

ご支援を賜りました
寄付企業法人や寄付者の皆様へ

2025年度（第8回）若手研究者奨励金
受賞者から御礼の言葉

日本私立学校振興・共済事業団

コイズミ　ジロウ
小泉　次郎

酪農学園大学 農食環境学群食・健康学類　講師



〔研究課題〕

ラクトフェリン分解物の抗肥満作用と分子メカニズムの解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本奨励金に採択いただき、誠にありがとうございました。ご寄付を賜りました企業の皆様ならびに日本私立学校振興・共済事業団の皆様に、心より深く感謝申し上げます。

本研究は、多くの方々のご理解とご支援のもと、貴重な奨励金を活用して遂行することができました。今後は、本研究で得られた知見をさらに発展させ、ラクトフェリンおよびその分解物の機能性解明を進めることで、健康機能性食品分野の発展に貢献できるよう努めてまいります。

フジワラ　リョウタ
藤原　良太

東北公益文科大学 公益学部　助教



〔研究課題〕

学校への包摂と相互行為に関する社会システム理論を応用した分析
－通常高校に就学する「知的障害児・者」の事例に注目して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究の推進にあたり、ご寄付と温かいご支援を賜りました皆さまに心より御礼申し上げます。皆さまのご支援は、学校教育の現場で見過ごされがちな課題に光を当て、誰もが地域の中で学び続けられる仕組みを検討するための大きな力となりました。研究を通じて得られた知見を、制度設計や教育実践に還元し、社会に開かれたかたちで共有していくことが私の責務です。今後も、皆さまの思いに応えるべく、子どもたちの状況とそれに向き合う現場、社会に根差した研究と実践に取り組んでまいります。

オカムラ　エリコ
岡村　恵里子

東北文教大学 人間科学部　講師



〔研究課題〕

発達障害児の保護者におけるニーズが早期支援開始に与える影響
－障害児通所支援施設を利用する乳幼児を対象として－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究に対し多大なるご支援を賜りました企業の皆様、ならびに日本私立学校振興・共済事業団の皆様に、心より御礼申し上げます。

本奨励金により広範な調査を実施することが可能となり、保護者の方々から貴重なご意見や思いを得ることができました。また、学会発表を通じて得たフィードバックは、研究者としての自信につながるとともに、より良い早期支援の実装に向けた伴走支援の重要性を再認識する機会となりました。

今後も、研究活動を通じて、いかなる立場の人も安心して子育てができ、生きやすい社会を目指すことに少しでも貢献できるよう、努力を重ねてまいります。改めまして、温かいご支援に深く感謝申し上げます。

ユキタ　トモシゲ
雪田　友成

足利大学 共通教育センター　講師



〔研究課題〕

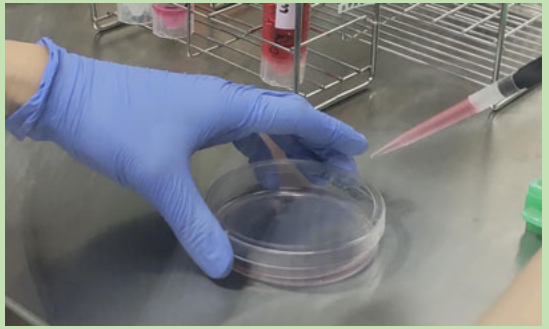
双曲多面体の増大度と組み合わせ構造に関する研究
－材料科学への応用を目的として－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、若手・女性研究者奨励金による貴重なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私たちの身の回りには、タイル張り、結晶、蜂の巣、グラフェンのように、単純な形が規則的に並ぶことで大きな構造を作っている例が数多くあります。本研究は、そのような考え方を双曲空間という特殊な空間に広げ、そこで現れる多面体の広がり方を数学的に調べるものです。増大度を調べることで、空間を埋める構造がどれほど単純か、あるいは複雑かを理解することができます。いただいたご支援により、研究に必要な文献調査、研究成果の発信を進めることができました。これは単なる金銭的な援助にとどまらず、新しい研究課題に挑戦するための大きな励みとなっています。今後も、双曲幾何学と組み合わせ論を結びつける研究を着実に進めてまいります。そして、数学の基礎研究としての発展に貢献するとともに、将来的には負曲率材料やハイパボリックメタマテリアルの理論的理解にもつながるような研究へと育てていきたいと考えています。温かいご支援に深く感謝申し上げます。

タツミ　アキヤ
辰巳　暁哉

国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科　講師



〔研究課題〕

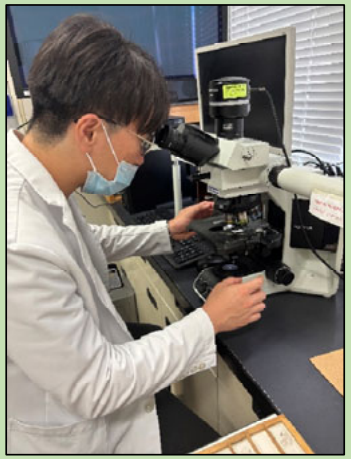
MYC過剰発現誘発アポトーシス制御因子の探索

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究に対し温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。私は30歳を過ぎてから本格的に基礎研究に取り組み始めたため、研究者としての経験や実績は決して十分とは言えませんでした。そのような中で、本助成によるご支援は研究を推進する上で大きな励みとなり、研究活動を継続する自信にもつながりました。本研究では、MYC過剰発現癌細胞の生存機構に関する新たな知見を得ることができ、現在、その成果の論文化に向けて投稿準備を進めております。また、本研究で得られた成果や経験は、その後の研究計画の発展につながり、新たな研究助成の採択にも結び付きました。ご支援いただいた皆様のお力添えに深く感謝するとともに、今後も癌研究の発展と新たな治療法の創出に貢献できるよう、研究に邁進してまいります。誠にありがとうございました。

カワサキ　ケイシ
川﨑　圭史

獨協医科大学 埼玉医療センター外科　助教



〔研究課題〕

膵癌でのLGR5発現抑制を目標とした新規癌分子標的療法の追求

寄付者の皆様へ〔御礼〕

貴重な資金のご提供誠にありがとうございました。
今回の経験を礎に、研究活動に邁進してまいります。

キムラ　ヒロト
木村　宏人

敬愛大学 国際学部 国際学科　専任講師



〔研究課題〕

プロ・スポーツの応援においていかなる意味が付与されているのか

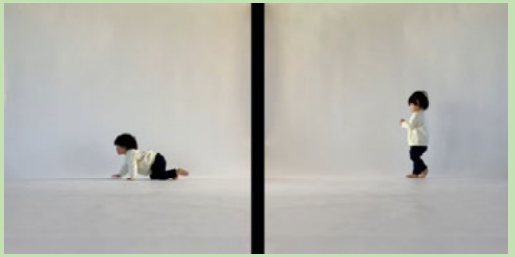
－応援歌の歌詞へのトピックモデルの適用－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は私の研究にご支援いただき心より感謝申し上げます。ご支援のおかげで約2,700曲もの応援歌を収集し、充実した環境で分析を行うことができました。応援歌をトピックモデルを用いて分析するアプローチは萌芽的なものでしたが、今回のご支援によってアイデアが形になり、非常に嬉しく思っております。今後も研究を精力的に進め新たな学術的な知見を生み出していく所存です。そして同時に、知見が持つ実践的な意義についても考えたいと思っております。スポーツ応援という一見私的な行為がどのように私たちの社会生活に関係しているのか。人文・社会科学の知見をどう社会に活かしていけるかを、決して短絡的にはならずに、考えていくことは重要だと考えております。改めまして、この度のご支援に深くお礼申し上げます。

クボ　ヨウコ
久保　瑶子

千葉明徳短期大学 保育創造学科　講師



〔研究課題〕

身体的外見と動作パターンのどちらがより仲間選好に影響するのか
－ダウン症2歳児を対象に－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、若手・女性研究者奨励金によるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私学事業団様をはじめ、寄付企業の皆様の温かいご支援のおかげで、本研究を着実に推進することができました。また、研究にご協力いただいた子どもたちや保護者の皆様、関係者の皆様にも深く御礼申し上げます。

乳児が他者のどのような特徴に魅かれて関心をもち始めるのか、そして、その関心がどのように他者理解へとつながっていくのかを明らかにしたいと考え、研究に取り組んでおります。本研究を通して得られた知見が、子どもたちの他者理解や豊かな人間関係の形成について考えるための基礎的な知見となることを願っております。

今後も研究成果を学術的な発展にとどめることなく、社会や教育現場へ還元できるよう、研究活動に真摯に取り組んでまいります。若手・女性研究者の挑戦を支えてくださる皆様に改めて深く感謝申し上げますとともに、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

キム　ミンソク
金　旼奭

青山学院大学 理工学部　助教



〔研究課題〕

高性能P型酸化テルル熱電半導体デバイスの開発

寄付者の皆様へ〔御礼〕

私学事業団より若手研究者奨励金のご支援を賜り、新規カルコゲン酸化物半導体の作製に取り組むことができました。本研究を通じて、学術的に価値のある成果を得るとともに、今後の研究活動につながる多くの知見を得ることができました。

また、本奨励金の支援は、カルコゲナイド関連材料を用いたさらなる研究を展開するための大きな足掛かりとなりました。今後は、本研究で得られた成果を基盤として、社会の発展に貢献できる先進的な材料研究へと発展させていきたいです。

研究は、小さな成果を一つひとつ積み重ねることで大きく発展していくものであると考えています。このような研究の意義を評価し、若手研究者奨励金の支援対象として採択してくださった私学事業団ならびに寄付企業の皆様に、心より感謝申し上げます。

チョウ　ダイスケ
長　大介

青山学院大学 教育人間科学部 心理学科　助教



〔研究課題〕

テスト効果における記憶が定着する機序の解明
－再現される学習文脈の特性に関する検討－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は本奨励金に採択いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました企業様、日本私立学校振興・共済事業団の皆様および関係者様に心より御礼申し上げます。個人で研究を進めていけるだけの実験環境が十分に整わない期間が続いていたところ、今回ご支援いただきましたことで、研究活動の基盤を整えることができ、研究者として改めて研究活動に取り組むための大きな後押しとなりました。本研究によって得られる知見は、テスト効果を新たな観点からとらえるきっかけになるとともに、そのメカニズムの解明が教育現場への応用にもつながる可能性があります。このような応用可能性を見据え、社会に貢献できる研究に取り組み、得られた知見を社会に還元できるように邁進してまいります。

タナカ　アキラ

田中　瑛

実践女子大学 人間社会学部　専任講師



〔研究課題〕

メディアをめぐる再帰的言説における信頼の構築

－報道の担い手の自己言及に焦点を当てた言説分析から－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本奨励金のような公共的な基盤に支援を寄せてくださる皆様のおかげで、主体的な問いのもとに研究活動が実施できることに対し、心より感謝申し上げます。メディアという一般市民にとって重要な社会基盤について、拙速な結論を出さず、時間をかけて考察を深めるためにも、こうした支援はとても心強く感じました。研究活動のみならず、教育活動や社会貢献活動においても、皆様の支えで得られた知を社会に還元していきたいと思います。

ハママツ　ワカバ
濱松　若葉

津田塾大学 学芸学部 国際関係学科　助教



〔研究課題〕
障害者就労の「能力」観の再考
－オンライン社会科見学の実践から－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

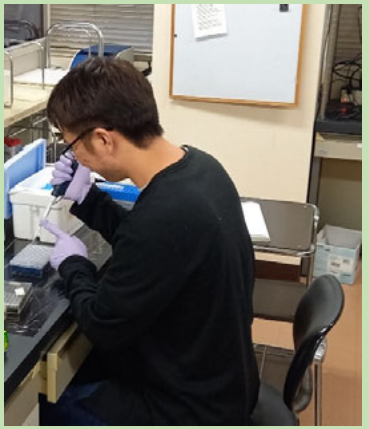
ご支援により、学びにくさと向き合っているお子さんや生徒（小学1年生から高校3年生）が、周囲のサポートを得ながら「能力」を発揮して働く職場があることを知るきっかけを作ることができました。社会科見学の感想には、算数や国語などの学びが社会でなぜ役立つか理解できたというコメントや、周囲の人の力を借りて「できる」ことを模索することは恥ずかしいことではなく必要なことなのだと気づいたというポジティブな声が溢れていました。障害者就労の優れた現場を紹介する社会科見学の取り組みは、事前調整が必要なことも多く、人手とお金がかかるものです。ご支援により、必要な機材や協力者を金銭的な不安なく手配できたことは、とても心強いものでした。改めまして、深く御礼申し上げます。

オオバ　ユウスケ
大場　裕介

帝京大学 理工学部　博士研究員

〔研究課題〕

植物の再生を調節する新規コミュニケーション分子の探索

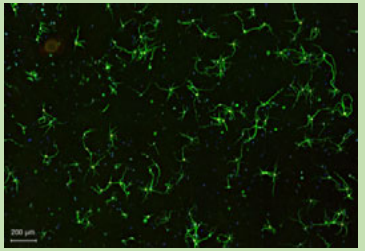


寄付者の皆様へ〔御礼〕

若手研究者奨励金への採択、またご支援していただき、深く感謝申し上げます。ご支援していただきましたおかげで、植物の再生を制御する新たな因子の候補を見つけるに至り、本研究が大きく進展致しました。本奨励金は学生から博士研究員となってから、初めて採択されたもので、研究者の道を歩むための大きな励みとなりました。今後、本研究をさらに発展させて社会貢献に繋がるように、より一層精進していきたいと思います。

リ　コクキョウ
李　国姣

東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野　ポスト・ドクター



〔研究課題〕

糖尿病母体の仔における中枢神経炎症発症機序の検討
－リポカリン2とGLUCAGON-LIKE PEPTIDE-1応答の観点から－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、若手・女性研究者奨励金によるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。ご支援をいただきました企業の皆様、関係者の皆様、ならびに日本私立学校振興・共済事業団の皆様に深く感謝申し上げます。皆様からの温かいご支援は、若手研究者の育成のみならず、将来の医学・医療の発展に大きく寄与するものであると実感しております。

本研究では、母体高血糖環境が次世代の脳機能へ与える影響について、神経炎症という観点から解析を進めております。ご支援により、初代培養系の構築や細胞解析を継続的に実施することができ、研究を推進する上で大きな支えとなりました。

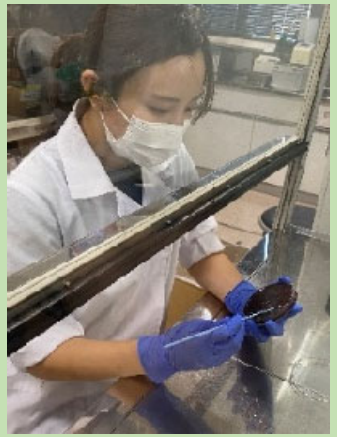
基礎研究は成果が得られるまでに長い時間を要しますが、病態理解や新規治療戦略の構築につながる重要な研究であると考えております。今後も研究活動を通じて、糖尿病関連疾患や次世代健康問題の理解に貢献できるよう努めてまいります。

改めまして、このたびの温かいご支援に深く感謝申し上げます。今後ともご指導・ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

ヒサナガ　リオ

久永　理央

東京歯科大学 歯周病学講座　助教



〔研究課題〕

歯肉縁下細菌バイオフィルムの病原性に鉄制限が及ぼす影響の解析

寄付者の皆様へ〔御礼〕

歯周病は、直接命に関わる場面は少ないものの、全身の健康やQOLの維持に深く関わる罹患率の高い疾患です。しかしながら、歯周病の基礎研究の分野においては競争的資金の獲得が容易ではない現状があります。そのような中で、本研究費は基礎研究を進め、今後さらに研究を発展させていく上で、大変有意義で心強い後押しであると感じております。

口腔健康の増進を通じて社会に貢献できるよう、今後とも研究に邁進してまいります。このたびのご支援に、心より感謝申し上げます。

セキグチ　ユウヒ
関口　雄飛

日本体育大学 オリンピックスポーツ文化研究所　助教（RF）



〔研究課題〕

アジア・太平洋戦争末期全国町村における厚生運動の受容と展開

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度はご支援を賜り誠にありがとうございました。この度の助成を受けたことによって、貴重な史料を収集することができ、新たな史実の発見に繋がりました。今後も、史実の発見と分析を積み重ねていき、既存の歴史像を捉え直すような研究を目指したいと考えています。

マツモト　アズサ
松本　梓

川村学園女子大学 生活創造学部 生活文化学科　講師



〔研究課題〕

若年層における食習慣及び生活習慣と終末糖化産物(AGES)

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、若手研究者奨励金を授与いただき、誠にありがとうございました。ご支援くださいました企業ならびに関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

本研究で使用したAGES測定機器はレンタル費用が高額であり、奨励金によるご支援のおかげで研究を遂行することができました。大学院生の頃は、研究機器を利用する環境が整っていたため、そのありがたさを実感する機会は多くありませんでした。しかし、大学教員として着任して以降、研究環境を整え維持するためには、多くの費用が必要であることを痛感しております。

近年、日本では大学や研究機関における研究費の削減が続き、論文数を含めた研究力の低下が指摘されています。その様な状況の中で、今回このようなご支援をいただけたことは、研究を継続する上で大きな励みとなりました。今後は、本研究で得られた成果を論文としてまとめ、学会発表や研究活動を通じて社会へ還元し、ご支援くださった皆さまへの感謝の気持ちを形にしていきたいと考えております。

カワナミ　ヒロマサ
川並　弘順

聖徳大学 生涯学習研究所　講師



〔研究課題〕

我が国の高等教育における多様な履修形態の在り方に関する研究
－短期大学第三部の機能変容過程および現状に着目して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、日本私立学校振興・共済事業団若手研究者奨励金を拝受いたしましたことを厚く御礼申し上げます。

奨励金を活用し第三部の関係者からお話を伺うことができただけでなく、第三部の学生たちが働き、そして学んだ短期大学や工場を実際に訪れることができたこと、初めての取り組みとして国立公文書館における資料探索や官公庁に対する行政文書の開示請求を行えましたことは今後の研究活動に資する貴重な経験となりました。

改めまして、多大なるご支援に深く感謝申し上げるとともに、本奨励金の成果を我が国の短期大学、ひいては高等教育全体に資するものとすることができるよう、今後も研究活動に取り組んでまいります。

オオウチ　カナエ
大内　佳奈江

帝京平成大学 ヒューマンケア学部 柔道整復学科　助教

〔研究課題〕
ダンス指導における口頭指示の効果の検証
－身体重心の安定性に着目して－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

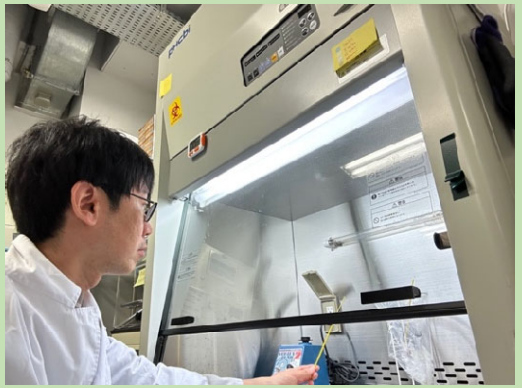
このたびは、若手研究者奨励金という貴重なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本奨励金は、研究に使用する備品や関連図書の購入、被験者への謝金、学会発表にかかる旅費として大切に活用させていただきました。

私は、博士課程で取り組んだ研究とは異なる分野で研究を進めていたため、当初は研究費の獲得に苦労しておりました。そのような状況の中で本助成金をいただけたこと、そして授与式において支援者の皆様や先輩方から温かい励ましのお言葉を頂戴したことは、大きな支えとなりました。「もう一度努力してみよう」と気持ちを立て直すことができ、現在は本研究の成果をまとめた論文を英文誌へ投稿する段階まで進めることができました。

皆様からいただいたご支援への感謝を忘れず、今後も社会に貢献できる研究を目指して一層精進して参ります。改めまして、誠にありがとうございました。

サトウ　ユウスケ
佐藤　祐介

麻布大学 獣医学部　講師



〔研究課題〕

馬のファージセラピーの実現に向けた基盤開発
－将来助けられなくなる大動物を救うための創薬－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は若手研究者助成金を賜り誠に感謝申し上げます。私が獣医師になろうとしたきっかけは馬の命を守りたいという、幼い時の夢でした。しかし、現在の麻布大学に異動するまでPIではなかったため、自身のしたい研究というよりも研究室の研究をする必要があり、馬の研究をする機会がありませんでした。その中で2022年に獣医の世界に戻る機会を得て、新たにPIとして自身のやりたい研究を始めた次第でした。しかし、これまで実績のない中でのスタートアップだったため、研究費面での困難に直面していた中、本研究には本当に助けられました。そして業績が出始めたことで2026年度より科研費にも採択され、研究の歯車が回り始めました。今自分は子供の頃に想っていた夢の入口にくることができました。そのきっかけを与えていただいた本助成金には感謝してもしきれません。この場をお借りして、日本私立学校振興・共済事業団をはじめ、審査員の先生方、そしてすべての支援者の方々に心より御礼申し上げます。

アソ　アユミ
阿曽　歩

フェリス女学院大学 全学教養教育機構　講師



〔研究課題〕

蘭学の家における儒学の位置付けに関する研究
－大槻家を中心に－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究課題にご支援いただき、誠にありがとうございました。ご支援により、今後の研究の基盤となる基礎的文献の購入や史料調査が可能になりました。今回の研究で得られた成果をさらに発展させ、学術論文や単著として発表し、広く社会へと貢献できるよう引き続き精進してまいります。

ナミキ　ノブタカ
並木　伸賢

新潟医療福祉大学 健康科学部健康スポーツ学科　助教



〔研究課題〕

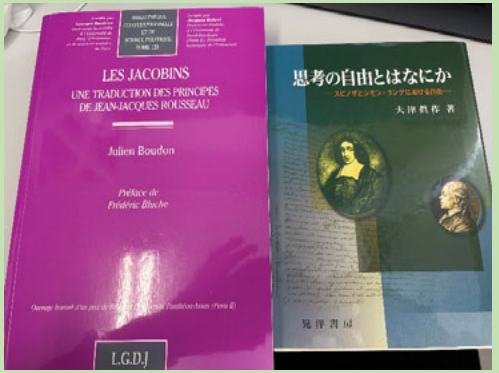
アスリートの競技経験は就業時にどのように活かされているのか？
－競技経験によるスキル獲得と就業時の転用のプロセスの解明－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究を採択いただき、誠にありがとうございます。本助成により研究を着実に推進することができました。厚くお礼申し上げます。今後も、アスリートのキャリア支援およびメンタルヘルス支援に資する研究を邁進し、社会還元に繋げていきたいと思います。今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻をいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ハセガワ　タクヤ
長谷川　拓彌

金沢学院大学 経済学部 経済学科　講師



〔研究課題〕

フランス革命におけるフィジオクラット受容と展開
－共同体の基礎としての自然と人為の探求－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

今回はご支援いただきありがとうございました。人文学、特に思想史などでは現地調査や外国語文献を使用することが不可欠です。昨今の情勢もあり、そうした研究が徐々に難しくなっている中で、このような支援制度があることは大きな励みとなりました。また支援がなければできなかったような国外図書館での資料調査や貴重な経験を通して、新たな研究を行うことができました。今回の研究と経験をさらに深め、ご支援いただいた皆様や社会一般にまで還元できるように、自らの責任を自覚して活動していこうと思います。

ホサカ　ユイト
保坂　唯仁

藤田医科大学 医学部公衆衛生学　助教



〔研究課題〕

生成AIで生成したデータを用いた統合失調症判別モデルの構築
－パイロット研究－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

ご支援のおかげで、本研究を円滑に進めることができました。この度のご支援に、心より深く感謝を申し上げます。今後も研究者として、アカデミアのみならず社会にも貢献できる研究に真摯に取り組んでまいります。皆様からいただいたご支援に応えられるよう、一層努力してまいりますので、今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

スギヤマ　マオ
杉山　真央

名古屋外国語大学 外国語学部　講師

〔研究課題〕
満洲国におけるソ連・白系ロシア人の表象
－独ソ戦期の邦字新聞－



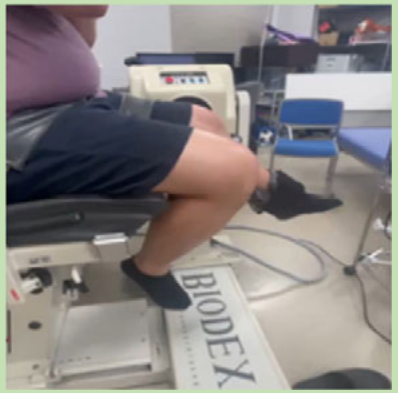
寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは貴重なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本奨励金により、個人では入手の難しい一次資料の復刻版や関連文献を揃え、研究の土台を築くことができました。若手研究者にとって、研究の初期段階を支えていただけることは何よりの励みです。

約80年前の満洲国に生きた人々の記録を読み直す本研究は、情報があふれる現代においてメディアとどう向き合うかを考えるための歴史的な手がかりを提供するものです。いただいたご支援を糧に、研究の成果を社会へ還元できるよう努めてまいります。

カワマ　ラキ
川間　羅聖

同志社大学 研究開発推進機構・スポーツ健康科学部　特別任用助教



〔研究課題〕

筋力を高めながらも肉離れ好発筋の硬さを減少させる新たな試み

寄付者の皆様へ〔御礼〕

ご支援を賜りました皆様に、心より御礼申し上げます。本研究は、スポーツ現場で頻発し、競技力低下や再発の一因となる肉離れの予防に向けて、筋の硬さを安全かつ効果的に低下させる新たな方法を探ることを目的として進めてまいりました。ラボベースの生理学的知見の蓄積は、一見すると現場から遠いように見えるかもしれませんが、こうした知見の積み重ねが、将来的にはアスリートの傷害予防や運動機能改善、さらには一般の方々の健康増進にもつながると考えております。皆様からのご支援は、このような基礎研究を着実に前進させる大きな力となりました。今後も、研究成果を学術的価値にとどめず、社会に還元できる実践的知見へと発展させるべく、誠実に研究を継続してまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

キョウ　ショウ
喬　昭

佛教大学 文学部　講師

〔研究課題〕

清末における漢訳イソップの受容と影響
－陳春生『伊朔譯評』を中心に－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、研究助成という貴重なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

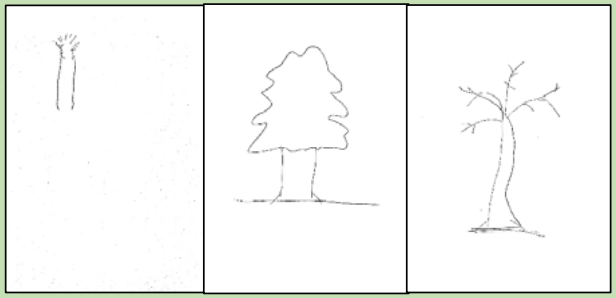
本研究では、これまで十分に研究されてこなかった清末時期の漢訳イソップである『伊朔譯評』を中心に、版本調査や関連資料の収集・分析を進めることができました。特に、国内外の図書館・データベースを利用した資料調査や、報刊資料の整理を継続的に行うことができたのは、本助成によるご支援のおかげです。

また、本研究を通じて、『イソップ寓話』の受容が単なる翻訳文学にとどまらず、近代中国における東西文化交流や文学形成とも深く関わっていたことを改めて認識することができました。若手研究者として、このような研究に継続的に取り組む機会をいただけましたことに、深く感謝申し上げます。

今後も研究成果を積極的に発信し、論文投稿や学会発表を通じて、研究の発展と学術交流に努めてまいります。改めまして、このたびの温かいご支援に厚く御礼申し上げます。

ゴトウ　キイチ
後藤　貴一

京都文教大学 臨床心理学部　助教



〔研究課題〕

認知症への適切な支援・介入を行うためのアセスメント研究
－バウムテストを活用して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

研究費をご支援いただけたことで、研究に必要な機材を導入し、多くの資料を購入することができました。研究環境を整えていただけたことに、心より感謝申し上げます。

それ以上にありがたく感じておりますのは、研究支援に採択いただいたことで、自身の研究に価値を認めていただけたと実感できたことです。そのことは、研究を進めるうえで大きな励みとなり、自信とモチベーションにつながりました。私にとって、これこそが何よりも感謝申し上げたい点です。

私は心理職を取り巻く課題の一つとして、心理的支援の必要性がこれまで以上に認識されつつある一方で、「具体的に何をしているのか」「どのように役立つのか」が十分に伝わりにくいという点があると考えています。とりわけ、バウムテストをはじめとする投影法的心理検査は、心理の専門職以外の方々にとって、その意義や有用性が見えにくい側面があります。だからこそ、そこに含まれる豊かな情報や臨床的な価値を、現場で活かせるかたちで、できる限り分かりやすく伝えていく研究を今後も継続してまいりたいと考えております。

このたびは、このような貴重なご支援を賜り、誠にありがとうございました。いただいたご支援に応えられるよう、今後も研究に取り組んでまいります。

ナカガワ　ケイスケ
中川　恵輔

大阪医科薬科大学 薬学部 病態分子薬理学研究室　助教



〔研究課題〕

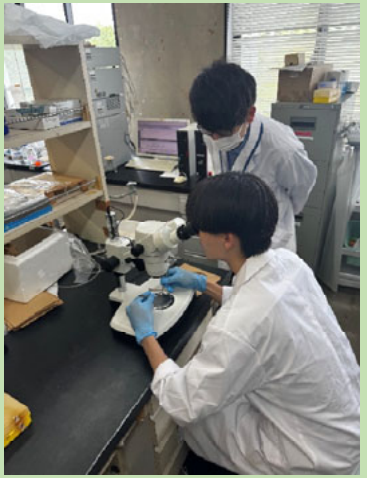
急性腎障害後の腎線維化並びに血管機能障害に対する薬理学的研究
－新規治療標的の創出－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は2025年度若手研究者奨励金を頂き、誠にありがとうございました。本助成により得られた結果は現在学術論文作成中ではございますが、必ず世の中に発信致します。上述した通り、本助成により得られた結果が、腎疾患領域における治療薬開発の一助となることを期待しております。ただし、本研究結果はあくまで結果論に過ぎないため、今後より詳細な治療メカニズム解析を行っていく所存です。腎疾患の分野は、近年はSGLT2阻害薬など徐々に治療薬（あくまで病態の進展抑制）が上市されてきましたが、他の生活習慣病と比較すると治療手段は少なく、予防薬については非常に乏しい現状です。したがいまして、微力ではございますが、今回助成いただいた研究を含め引き続き腎臓分野の実験を進めて参ります。末尾とはなりますが、今回の助成に対して重ねて御礼申し上げます。

ヤギ　ハルヤ
八木　晴也

摂南大学 薬学部　特任助教



〔研究課題〕

硝子体内注射に代わる抗体医薬の非侵襲的眼内送達システムの開発
－注射投与から脱却し、患者にやさしい治療法の開発を目指す－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、2025年度若手研究者奨励金に採択いただき、誠にありがとうございます。研究遂行にあたり多大なるご支援を賜りましたこと、心より深く感謝申し上げます。

本研究の成果は、非侵襲性、高い有効性、ならびに副作用の低減という三つの要件を同時に満たす新規点眼薬の開発に向けた重要な第一歩になったと考えております。従来の治療法における課題を克服し得る可能性を示すものであり、将来的には眼疾患患者様のQOL向上に資する治療選択肢の拡充につながることが期待されます。

今後も引き続き本研究を発展させるべく、国内外の学会における研究成果の発表や査読付き学術論文への投稿はもとより、産学連携の推進や展示会への出展などを通じて、研究成果の社会実装に向けた取り組みも積極的に展開してまいりたいと考えております。また、本研究を契機として得られた知見を基盤に、関連領域への応用や新たな研究課題への展開も視野に入れ、さらなる発展を目指してまいります。

改めて、本奨励金事業にご尽力くださいました関係者の皆様に、重ねて心より厚く御礼申し上げます。

タカクラ　ヒデキ
髙倉　英樹

広島国際大学 薬学部　特任助教



〔研究課題〕

植物由来エクソソームと食品成分との併用による新規大腸がん予防
－植物由来エクソソームとMTOR阻害食品成分との相互作用の解明－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

今回、2025年度若手研究者奨励金に採択していただき、また奨励金のためにご寄付いただきましたこと、深く感謝申し上げます。本奨励金により、植物由来エクソソームの食品成分との相互作用解明に着手することが出来、植物由来エクソソームと食品成分との併用による新規大腸がん予防に向けた研究を推し進めることが出来ました。この度得られた研究成果は植物由来エクソソームの実用化に向けた重要な知見になると考えております。

本研究成果を日本薬学会 第 146 年会(大阪)において、研究協力者の嶋田航大さん（広島国際大学薬学部五年生）がポスター発表してくれました。次世代を担う人材育成のための大変貴重な機会となったものと考えます。

広く、皆様に研究成果を還元することを目標として、今後も着実に研究活動を推し進めていきたい所存です。

この度、本奨励金へのご寄付ならびに2025年度若手研究者奨励金に採択いただき、深く感謝申し上げます。

マルタニ　ヨシヒロ
丸谷　賢弘

関西大学 人間健康学部　特任体育講師



〔研究課題〕

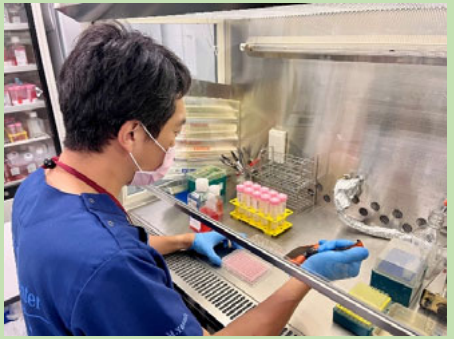
熱中症予測に向けた非定常運動時の動作特性に関する基盤的な研究
－異なる気温条件下での生理的指標と加速度分布の特徴量による検証－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究を行うにあたり、研究の意義にご理解をいただき、ご支援をいただきました日本私立学校振興・共済事業団の関係者各位ならびに奨励金をご寄付いただいた皆様に心より御礼申し上げます。労作性熱中症の予測研究に取り組んでまいりましたが、大学院を修了したばかりで研究費の獲得に苦慮していました。このように新しい課題に挑戦することが出来るのは本奨励金のおかげです。資金面でのご支援のみならず、研究を続ける大きな励みとなりました。本奨励金の理念を忘れず、研究成果の社会還元を目指し、研究者・教育者として謙虚かつ誠実な姿勢で一層尽力してまいります。

ヤスダ　マサヒロ
保田　真宏

関西医科大学 医学部 小児科学講座　助教



〔研究課題〕

先天性ネフローゼ症候群における免疫抑制薬作用機序の解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は若手・女性研究者奨励金にご採択いただき、多大なるご支援を賜りましたことに心より御礼申し上げます。皆様からの温かいご寄付のおかげで、これまで構想段階にあった患者由来iPS細胞を用いた病態解明プロジェクトを、具体的な研究成果へと進めることができました。今回達成した「iPS細胞の樹立と品質実証」は全体の出発点ではありますが、難治性疾患の克服へ向けた確かな一歩です。本研究を結実させ、これまで腎移植以外に有効な術式がなかった新生児たちに新たな治療の選択肢を届けるべく、今後も臨床と研究の双方に真摯に向き合い、誠心誠意邁進してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

チョウ　ケイイ
趙　経緯

近畿大学 産業理工学部　助教



〔研究課題〕

深層学習によるRC柱損傷度識別器の識別破壊形式の拡大

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本奨励金に採択いただき、誠にありがとうございました。日本私立学校振興・共済事業団の皆様ならびに、ご支援くださいました企業・関係者の皆様に、深く御礼申し上げます。

現在、競争的研究費の若手研究枠では、申請条件として博士号取得が求められております。そのため、私のように学位取得を目指しながら研究を進めている立場では、研究費を申請できる機会が限られている状況にあります。そのような中で、本奨励金は研究を継続し、学位取得を目指すうえで非常に大きな支えとなりました。

本研究を通じて、AI技術を用いた建築構造物の被害判定支援の可能性を検討できたことは、今後の防災・減災分野への応用につながる重要な経験となりました。今後も、地震被害を受けた建物の迅速な安全性評価や復旧判断に役立つ研究へ発展できるよう努めてまいります。この度は多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。

イグチ　ユウキ
井口　祐貴

桃山学院大学 法学部 法律学科　講師



〔研究課題〕

サッカーにおける制約主導アプローチを用いたトレーニングの効果
－トレーニング中の身体的負荷強度に着目して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、貴重な研究費を受託できたことを、心より嬉しく思います。また、ご支援をいただきました寄付企業の皆様ならびに、ご支援者の皆様に深く感謝申し上げます。独立した研究者としての基盤を築く上で、自身の研究課題を採択していただいた経験は、研究者としての自信を深めるかけがえのないきっかけとなりました。本研究は、サッカーというチームスポーツを対象に、ウェアラブルデバイスを活用した運動負荷の分析を行ったものです。本研究で目指す「運動負荷の最適化」や「データや科学的根拠に基づくパフォーマンス向上」のための知見は、アスリートの競技力向上のためのみならず、一般の方々のスポーツ現場における安全な指導や、人々の生涯にわたる健康増進・心身のウェルビーイングにも価値をもたらす可能性があると信じています。この経験を糧に、研究成果を競技現場、そして広く社会へと還元し、新たな価値を創出できるよう今後も精進してまいります。改めて、この度は、貴重なご支援をいただき、ありがとうございました。

サイレンジ　タクミ
西連寺　匠

帝塚山大学 文学部　講師



〔研究課題〕

カンジョウナワ行事と地域における伝承の変容

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究にご支援いただいたことで、資料調査に用いる機材の購入や、地域との情報共有を行う際の資料作成等を行なうことができました。これまで当該地域の研究は、研究者が出入りするだけで完結してしまうものが多く、地域への還元があまりなされてきませんでした。本奨励金による支援をいただいていることや、研究成果は地域にも還元されることが前提である旨を説明しながら調査を行うことで、地域住人から快く様々な資料を提供していただけました。

江包のお綱祭りは国の重要文化財に指定されていますが、江包・大西地域では人口減少が徐々に進んでおり、聞き取り調査でも運営を危ぶむ声がありました。こうした状況は他地域の民俗行事でも同様で、実際に廃絶した祭礼も少なくありません。今後は本研究の成果を踏まえて、他地域についても同様の手法を用いながら、さらなる研究の進展を図ってまいります。また、地域にとって具体的かつ無理のない民俗行事の継承方法の提案に繋がるような研究を展開していくことを目指しており、今回のご支援で、そのスタートを切ることができました。本研究の遂行にあたり、貴重なご支援をいただいたすべての皆様に、ここに記して感謝申し上げます。

タケノウチ　ヒロシ
竹之内　宏

福岡工業大学 情報工学部　助教



〔研究課題〕

対話型進化計算手法における感性評価に関する嗜好ルールの同定

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究は、皆様からのご支援により着実に推進することができました。心より御礼申し上げます。本奨励金により、対話型進化計算における感性評価の分析と嗜好ルール生成および簡略化に関する研究を深化させ、研究者として新たな知見を獲得できました。本研究は、人の感性を反映したデザイン支援におけるユーザ間の関連性分析や商品マーケティングにおけるユーザの感性理解などへの応用が期待されます。今後も社会に価値を生み出す研究として発展させてまいります。

オオバ　ケンジ

大場　健司

九州女子大学 人間科学部 心理・文化学科　講師



〔研究課題〕

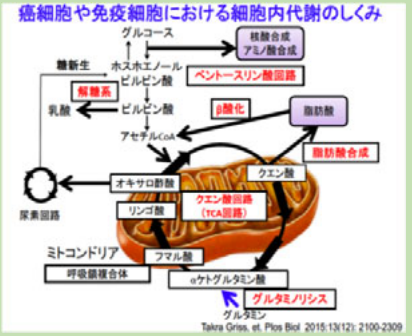
戦後文学・戦後思想におけるノマド表象をめぐる比較文学的研究
－安部公房・宗左近・柄谷行人を中心に－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

「2025年度 若手・女性研究者奨励金」に採択して頂いたおかげで、東アジア地域、特に台湾において本格的な資料調査を行うことができまして、大変感謝しております。具体的には、植民地期の資料や台湾の山岳、民俗学関連の資料が多数、所蔵されている国立台湾図書館にて資料調査を行うことができました。台湾には日本には存在しないけれども、貴重なマイクロフィルム資料や雑誌資料が存在しており、戦前・戦後における原住民の表象を比較する上でも、非常に有意義な資料調査となりました。今後も、日本／アメリカ／東アジアという3つの地域に関する、国際的な比較文学・比較文化研究を行なって参ります。研究成果に関しましても、最終的には単著学術書として発表する予定ですので、今後も本研究を継続していきたいと考えております。

ウエノ　マサノブ
上野　匡庸

産業医科大学 医学部 第1内科学講座　助教



〔研究課題〕

SLEのB細胞免疫代謝ダイナミズムの解明と新規バイオマーカー探索

寄付者の皆様へ〔御礼〕

全身性エリテマトーデス（SLE）は若年女性に多く発症し、長期にわたり生活の質や社会生活に大きな影響を及ぼす疾患です。近年、治療は進歩しているものの、再燃や臓器障害を完全に防ぐことは依然として難しく、病態のさらなる解明と新たな治療標的の探索が求められています。

本研究では、SLEの病態に深く関わるB細胞の「代謝」に着目し、疾患活動性や再燃を予測する新たな指標、さらには将来的な治療法の開発につながる知見を得ることを目指しています。皆様からのご支援は、患者さん一人ひとりにより適切な医療を届けるための大きな力となります。研究成果を臨床へ還元し、SLE患者さんの将来に貢献できるよう、真摯に研究に取り組んでまいります。